



## JABEE 事務局ニュース No. 13

2011年4月4日

東日本大震災で被災された皆様に、心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧がなされますことを心からお祈り申し上げます。

### 1) 2012年度以降適用のエンジニアリング系学士課程認定基準（仮称）を公開

JABEE 事務局ニュース No. 10 でお知らせしたとおり、2012年度改定の認定基準が第4回理事会（12月20日）で審議・承認されました。これを受けて、下記の認定基準関連文書を2月28日に JABEE ホームページ上で公開致しました。

- ① 2012年度認定基準改定の趣旨と要点
- ② 2012年度の認定基準改定に伴う経過措置について
- ③ 2012年度認定基準関係文書の公開計画
- ④ 日本技術者教育認定基準（2012年度～）
- ⑤ 日本技術者教育認定基準細則

エンジニアリング系学士課程プログラム（仮称）適用 一 要旨一

URL: [http://www.jabee.org/OpenHomePage/accreditation\\_o.htm](http://www.jabee.org/OpenHomePage/accreditation_o.htm)

今回公開された内容は、全認定種別共通の認定基準と、4つの認定種別のうちエンジニアリング系学士課程（仮称）に関する認定基準細則（要旨）のみとなっておりますが、今後、上記③の公開計画に従って全ての認定種別についての認定基準細則（全文）と審査関連文書を公開していきます。

### 2) 専門職大学院の認証評価

2月28日に開催された2010年度第5回通常理事会で、2010年度専門職大学院の認証評価結果が決定されました。この結果、産業技術大学院大学の情報アーキテクチャ専攻が適格認定されました。認証評価報告書を文部科学大臣に報告し、専攻にも通知しました。

3月25日、文部科学省記者会において記者発表を行いました。

認証評価報告書は、申請専攻の自己評価書（本文編）とともに

[http://www.jabee.org/OpenHomePage/pgschool/pgschool\\_3.htm](http://www.jabee.org/OpenHomePage/pgschool/pgschool_3.htm) に公開しています。

### 3) 2010年度認定・審査審議

3月19～20日に予定されていた認定・審査調整委員会（三木哲也委員長）での2010年度学士、修士認定審査案件の調整・審議は、東日本大震災による交通機関への影響を考慮し、4月2～3日に延期して行いました。4月16日の認定会議（岸本喜久雄議長）に最終

審査報告書と認定可否案を提出します。5月16日開催予定の理事会で承認されると、認定プログラムリストを公表し、受審校に審査結果を報告します。

#### 4) 「エンジニアリング・デザイン教育」ワークショップ

JABEE が2005年にワシントン協定に加盟した際、ワシントン協定加盟団体による審査チームから「日本の技術者教育におけるエンジニアリング・デザイン教育の弱点」が指摘されました。6年ごとに実施されるワシントン協定の継続審査では、前回の審査での指摘事項が重点的に審査されます。このため、JABEE および関連学協会ではこれまでに、国際シンポジウムやワークショップなどを開催し、また、審査に関するJABEEの基本方針等を公表してきました。本年秋に上記のワシントン協定継続審査が実施されることもあり、更なるエンジニアリング・デザイン教育の促進のため、5月22日(日)ワークショップを開催します。今回はオーストラリア技術士会のRobert King 教授をお招きし、また、デザイン教育が伝統的に良くなされている分野とあまり注目されていなかった分野におけるデザイン教育例を発表していただき、デザイン教育の問題点とその改善に関して討議します。午後はグループに分かれて、日本にはまだなじみの浅い「エンジニアリング・デザイン教育」の問題点とその改善に関して討議します。JABEE受審校関係者が主たる参加者となりますが、定員(90名)に満たない場合は、それ以外の方の参加も受け付けます。ワークショップへの申込みは[http://www.jabee.org/OpenHomePage/engineering\\_design\\_ws110522.pdf](http://www.jabee.org/OpenHomePage/engineering_design_ws110522.pdf)からできます。

#### 5) 学協会主催の審査講習会(提供:土木学会)

土木学会が5月14日(土)に審査講習会を開催します。

申込みは[http://www.jsce.or.jp/opcet/09\\_24.shtml](http://www.jsce.or.jp/opcet/09_24.shtml)からできます。将来、審査員になりたい方、2011年度の審査長、審査員になるがJABEE主催の審査員研修会(8月20日、8月27~28日)に日程の都合上参加できない方は、学協会主催の審査講習会に参加してください。

前回のJABEE事務局ニュースでご案内しました電子情報通信学会主催の審査講習会(3月17日)は、東日本大震災の影響を考慮して中止されました。

#### 6) 日本工学会、科学技術人材育成コンソーシアム

(社)日本工学会が「科学技術人材育成コンソーシアム」を立ち上げました。コンソーシアムの事業目的は、1)情報共有、2)講師・教材、3)国民的運動への盛り上げの3つです。日本におけるエンジニアのステータスを向上させるために、学協会単位の個別行動ではなく、コンソーシアムとして共同して行動しようという枠組みです。JABEEに参加要請があり、2月28日の理事会で議論した結果、コンソーシアムに参加することが承認されました。

## 7) 技術士第二次試験合格発表（提供：日本技術士会）

この度、平成 22 年度の技術士第二次試験の合格発表をしましたので、受験者や合格者の人数等、並びに JABEE 認定課程修了者（以下、「JABEE 修了者」と略す）の受験状況についてお知らせします。

（表 1）平成 22 年度技術士第二次試験の結果

	全体	JABEE 修了者
受験申込者数（名）	31,627	413
受験者数（名）	24,292	332
筆記試験合格者数（名）	4,344	31
口頭試験合格者数（名）	3,577	24
最終合格率(対受験者、%)	14.7	7.2

（総合技術監理部門を除くデータ）

（表 2）JABEE 修了者の平成 18 年度からの技術士第二次試験結果

	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
受験申込者数(名)	1	28	80	200	413
受験者数(名)	0	24	69	160	332
筆記試験合格者数(名)	0	1	2	14	31
口頭試験合格者数(名)	0	0	1	5	24
最終合格率(対受験者、%)	-	-	1.4	3.1	7.2

（総合技術監理部門を除くデータ）

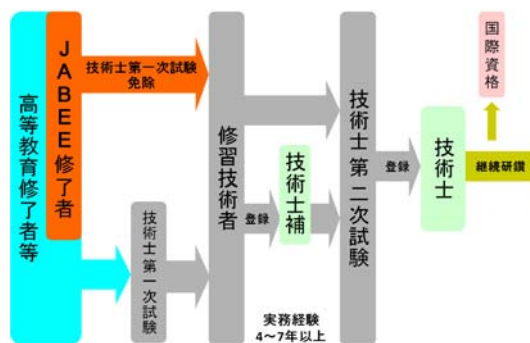
このように JABEE 修了者は、平成 22 年度の第二次試験においては 24 名が合格しました。JABEE 修了者の第二次試験受験が平成 18 年度に可能になって以来、平成 20 年度に最初の合格者 1 名が誕生し、平成 21 年度 5 名、そして、平成 22 年度が 24 名と着実に増加傾向にあり、今後益々増加していくことが期待されます。

平成 22 年度技術士第二次試験の合格者の平均年齢は 41.5 才（総合技術監理部門を除く）でしたが、JABEE 修了者の合格者 24 名の平均年齢は 28.1 才となっています。最も若い合格者は 26 才で 5 名いますが、その中に JABEE 修了者が 3 名含まれており、うち 1 名は女性でした。

国家資格である技術士の試験は、技術士第一次試験と技術士第二次試験があり、第二次試験を受験するには第一次試験に合格することが必須です。ただし、文部科学大臣が第一次試験合格と同等であると指定した JABEE 修了者は第一次試験が免除されています。

JABEE 認定課程修了者の技術士資格取得までの仕組みは図1の通りです。

(図1) JABEE 認定課程修了者の  
技術士資格取得の仕組み



「JABEE認定課程修了者は、修了課程の部門にかかわらず、第二次試験は全ての技術部門を受験することができます」

とを認識していただき、キャリアアップの目標として技術士資格の取得を目指していただきたいと思います。

JABEE 認定課程に在学中の方々も、このような意識や目標をもって取り組んでいかれることを望みます。

以上

**JABEE 事務局**ニュースは社員（正会員）、賛助会員、理事、監事、顧問、委員会委員宛に発信しています。同じものを **JABEE** のホームページにも掲載しますが、みなさんから関係者に転送して情報のより広い共有をしていただければ幸いです。